

* 杉崎さんのアルバムの寄贈

アーカイブ室新聞第372号に「第1回天文台古墳発掘調査(昭和46年3月)の写真発見」(2010年8月17日)という記事を書いた。この記事は台長室にあったアルバムが天文情報センターに渡り、アーカイブ室発足以前に「国立天文台デジタルアーカイブ」として保存された写真の中に「天文台構内古墳」の発掘調査時のスナップ写真を見つけた記事であった。天文台構内古墳は昭和46年(1971年)に三鷹市教育委員会の手によって第1回発掘調査が行われたが、現在の三鷹市の遺跡調査室に当時の写真が無いので、天文台の誰かが撮影していないかと尋ねられ、探していて発見していたものであった。「国立天文台デジタルアーカイブ」の中に6枚の発掘時の写真を見つけ、三鷹市遺跡調査室に渡したところ、もっとあるのではないかとさらに探すよう頼まれ、昭和46年当時、天文台職員で写真をよく撮っていた人を何人か知っているから当ってみましょうと何人かに手紙を書いたり、電話をかけていた。筆者は元東京天文台職員で俳句、写真を趣味にしていた長らく経理係長であった杉崎さんに目星をつけていた。残念ながら杉崎さんはすでに他界されていたが、ご遺族と連絡が取れ、何度か電話で話し、ご無理にでもと探してもらっていた。筆者が乗鞍コロナ観測所に出張中に杉崎さんのご長男が国立天文台を訪ねてくださり、杉崎さんを知っている何人かと懇談してお帰りになったという。その後、ご遺族から杉崎さんが撮影した天文台の風景等の2冊のアルバム(写真1)を天文台に寄贈していただいた。



写真1 寄贈された杉崎さんが天文台を写したアルバム2冊

天文台に勤務していた研究室のものにとっては、写真は仕事に必要な技術であった。天体写真は写真乾板で撮られ、印画紙に焼き付けていた。杉崎さんは事務方であったから写

真は仕事ではなく趣味でたくさん撮られていた。われわれ研究室のもの写真と違い、それらの写真は芸術作品である。主には昭和 40 年代の写真が多く、当時の記録写真として貴重である。次号以下にいくつかを紹介したいが、今は巨木に育った桜並木の桜が若木（写真 2）であったり、天文台のあちこちにあったポプラ並木（写真 4）が写っていたり、祠の一本杉（写真 3）の写真など懐かしい写真が多い。



写真 2 まだ若木であった。桜並木



写真 3 祠と一本杉



写真 4 アルバムのある 1 頁、ポプラ並木等が写っている